

目指せ

100億企業

「電気自動車(EV)も鋳物部品は使われているが、EVになればブレーキ、ギア関連などに限られそう。当社の主力はターボチャージャー(過給器)やオイルポンプ部品。今は事業として成り立っているが、将来は厳しい。新規事業へのチャレンジが必要だ」

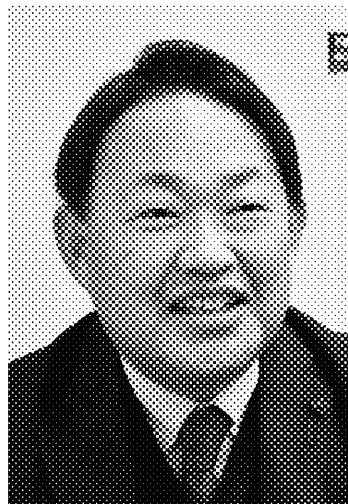
「鋳物産業は主要顧客を変えながら生き残ってきた業界です。かつて鋳物業は寺

「現在の中小事業はへのシフトは確実だ。自動車部品です。将来、現在、エンジンやミッションを中心に駆動系も鋳物部品は使われているが、EVになればブレーキ、ギア関連などに限られそう。当社の主力はターボチャージャー(過給器)やオイルポンプ部品。今は事業として成り立っているが、将来は厳しい。新規事業へのチャレンジが必要だ」

「鋳物産業は主要顧客を変えながら生き残ってきた業界です。かつて鋳物業は寺

二ノミヤ

社長 二宮 英樹氏



「基本は月間1万個で栄えた。近代になつて織機、工作機械、自動車を支える部品となった。顧客を変えて生き残ってきたが、どこか職人気質が抜けない業界でもある。良いものを作れば生き残れるのを作れば生き残れる時代ではない。当社は自動車部品を中核にし、ながら建機、産業機械などの大物部品の受注にも力を入れていく」

「量産部品を手がけているのが特徴です。一職人仕事というイメージがありますが、

鋳物職人気質から脱却

自動化進め新事業に挑戦



「ベテランの『カン』や技術は大事にしたい。ただ、カンを継承するには言語化する必要がある。言語化して、時には映像にするなどして技術を残すことはできる。同時に自動化、機械化を進めることも重要だ。タを取りやすくなる」

「注湯工程 時代です。打ち手は。湯スピードを理由の一つは採用。測るとバラつきがあること採用活動に投資できが分かり、究る。デジタル人材も必要になる。企業規模を拡大することは重要な要素だ」(随時掲載)

【企業データ】1946年(昭21)7月に創業。従業員130人を抱える有力鋳造メーカー。自動車部品事業は全体の80%を占める。従業員の平均年齢は33歳。新卒採用に力を入れており、毎年5-10人の高卒、大卒の男女がコンスタントに入社している。学校の教員を本社に招き、更衣室や食堂などを見学してもらいながら信頼を獲得している。女性専用スペースを確保するなど女性が働きやすい職場作りも進めている。売上高は約45億円(25年9月期)。100億宣言では33年9月期に売上高100億円を達成する計画。